

## 今年度の活動

2018 年度は IAMAS に赴任して 3 年目を迎え、海外での研究発表および IAMAS での共同研究により、活動領域を開拓した 1 年であった。

個人研究として、芸術における公共圏を主題とし、80 年代以降のメディア・アートに関する文献調査、国際学会での講演、オーラル・ヒストリーによる研究資料の公開に努めた。また、研究領域の開拓を念頭に、Miryam Sas 教授 (UC Berkeley/ Comparative Literature and Film & Media) のもとで 1986 年の美術番組を起点に 60 年代美術を振り返り、講演「Art/Anti-Art in Media Environment」および意見交換を行った。

IAMAS での共同研究としては、《養老天命反転 AR》の制作、「つくる人、すむ人、みる人でつくるコミュニティ・アーカイブ」〈坂倉準三篇〉の企画運営に携わった。本学内外の研究者、アーティストとともに領域を横断して知見を共有し、研究資料の活用、循環のプラットフォームの構築に向けた新たな研究手法の実践に取り組んだ。

## ◎講演、その他

【講演】2018 年 8 月 24 日「印象派絵画人気の秘密～至上の印象派展ビュールレ・コレクションから～」伊村靖子 (NHK 文化センター岐阜教室)

【講演】2018 年 9 月 4 日「“Art/Anti-Art” in Media Environment: the Concept of “Anti-Art” in Criticism by Yoshiaki Tono」伊村靖子 (カリフォルニア大学バークレー校 (サンフランシスコ))

【講演】2018 年 10 月 17 日「The Public Sphere Engendered by Information Technology -Masaki Fujihata’s *Light on the Net* (1996)」伊村靖子 (The 6th ICAPAS (International Conference for Asia Pacific Art Studies) Postgraduate Program of the Indonesian Institute of the Arts Yogyakarta)

【講演】2018 年 11 月 9 日「つくる人、すむ人、みる人でつくるコミュニティ・アーカイブ〈坂倉準三篇〉」伊村靖子 (清流の国ぎふ芸術祭「アート体験プログラムーアートラボぎふー」「つくる人、すむ人、みる人でつくるコミュニティ・アーカイブ」〈坂倉準三篇〉、羽島市勤労青少年ホーム)

【講演】2019 年 1 月 25 日「フランス絵画史～作品とその背景にあるもの 第 1 回：クールベとマネ 近代絵画の革命」伊村靖子 (NHK 文化センター岐阜教室)

【講演】2019 年 2 月 15 日「フランス絵画史～作品とその背景にあるもの 第 2 回：カフェとアトリエ 印象派の登場」伊村靖子 (NHK 文化センター岐阜教室)

【講演】2019 年 3 月 22 日「フランス絵画史～作品とその背景にあるもの 第 3 回：ゴッホとゴーギャン ジャポニスムと画家たち」伊村靖子 (NHK 文化セ

ンター岐阜教室)

【トーク・イベント】2018年8月18日「メディア・パフォーマンスとしての『武満徹の電子音楽』」川崎弘二、伊村靖子（スタンダードブックストア）

【トーク・イベント】2018年9月14日「二個の者が same space を occupy スル」大谷能生、伊村靖子、UCNV（コ本や honkbooks）

【トーク・イベント】2019年2月2日「玉木晶子「ブレイクタイム No.6」」玉木晶子、伊村靖子（トーキョーアーツアンドスペース本郷）

【研究会】2018年6月25日「キャノン・アートラボ（1990-2001）資料から見えること」川崎弘二、原久子、松井茂、伊村靖子（マス・メディア空間における芸術表現と情報流通の研究（17K02368））

【研究会】2018年8月25日「荒川修作+マドリン・ギンズの「養老天命反転地」関連資料から」川崎弘二、原久子、松井茂、伊村靖子（マス・メディア空間における芸術表現と情報流通の研究（17K02368））

【共同企画】2018年11月9日「アート体験プログラム「つくる人、すむ人、みる人でつくるコミュニティ・アーカイブ」〈坂倉準三篇〉」



講演「"Art/Anti-Art" in Media Environment」UC Berkeley, 2018年9月4日

## ◎テキスト

【評論】伊村靖子「Design by Art, Art by Design—クワクポリョウタの作品」『IAMAS ARTIST FILE #06「みるころみるかえりみる」クワクポリョウタ 会田大也』図録、岐阜県美術館、2019年3月、pp.62-77

【研究ノート】伊村靖子「芸術の総合へ向けて—斎藤義重《作品A》（1958）と羽島市庁舎」『報告書：アート体験プログラム「つくる人、すむ人、みる人でつくるコミュニティ・アーカイブ」〈坂倉準三篇〉』、2019年3月、pp.6-10

【研究ノート】赤松正行、伊村靖子、小林友樹、原田郁、松井茂「《養老天命反転AR》：作品データベースの活用とAR開発のためのプラットフォーム」『情

報科学芸術大学院大学紀要』第10巻、2019年3月、pp.72-75

【インタビュー】伊村靖子「Interview: KOSUGI+ANDO」『living will:01  
「Sleepless Babies—眠れぬ子らのために」』塩田京子・KOSUGI+ANDO、2018  
年8月、pp.46-61

【インタビュー】伊村靖子「四方幸子インタビュー：アーティストとエンジ  
ニアのコラボレーション キヤノン・アートラボ（1990～2001）を振り返る」  
『情報科学芸術大学院大学紀要』第10巻、2019年3月、pp.86-100

### ◎社会的活動

国立新美術館客員研究員、国立新美術館研究紀要査読員

ICAPAS (International Conference for Asia Pacific Art Studies)査読員

日本美術オーラル・ヒストリー・アーカイヴ メンバー

「マス・メディア空間における芸術表現と情報流通の研究」(科研費17K02368)  
研究分担者

「1970年代における美術概念の再構築に関する研究：オーラルヒストリーを  
中心に」(科研費16K02267) 研究分担者

文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員、NHK文化センター岐阜教室講師

### ◎学内の活動

【授業】モチーフワーク、総合学C、デザイン特論A

【授業】IAMAS メディア表現学研究プロジェクト、移動体芸術、現実感芸術